

## 登録団体概要書

## 1 団体名・活動分野・自己PR（※各項目の記載枠サイズは、適宜加工してください。）

(1)団体名	特定非営利活動法人 旧鈴木家跡地活用保存会
(2)種類	<input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 <input type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(3)主な活動分野	<input type="checkbox"/> 福祉 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> その他の社会貢献に係る分野（ ）
(4)自己PR ・アピール ポイント	「庄屋屋敷を再生して歴史の中で遊ぼう。」がテーマです。

## 2 活動について

(1)これまでの 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年、市に寄付された中郡町の4300坪の室町時代から続く庄屋、旧鈴木家跡地の公園化事業について、市と協議し、敷地内に残る古建物群については、市民による改修、活用という結論を得た。</li> <li>・東区の区役所ロビー（市民広場）で平成29年1月、約1か月間、鈴木家収蔵品展示会を実施、多くの市民に鈴木家の存在を知っていただいた。</li> </ul>
(2)団体の目的 (定款等に記載 された目的)	室町時代から続く庄屋、旧鈴木家屋敷跡地の郷土史的価値をより多くの市民に伝え、多くの市民が楽しめる屋敷跡地の活用を図り、郷土愛の増進に寄与する事。
(3)団体の活 動・業務(事業 活動の概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元14地区の自治会長とNPOメンバーとで「多世代交流拠点づくり委員会」を組織し、屋敷敷地内に残る古建築群の改修と有用な活用方法について1年間14回の協議を積み重ねてきた。</li> <li>・屋敷内外の草刈、伐根、枝打ち</li> <li>・屋敷内から発見された古文書の解読、整理</li> <li>・現地見学会の実施</li> </ul>
(4)現在特力を入 れている事業	屋敷敷地内の母屋と離れ屋の耐震診断と、それを踏まえた多世代交流拠点としての機能を持った建屋の改修仕様の設定、設計
(5)4の事業に 関する地域の課 題・目的(必要 性)	<p>(地域の課題)</p> <p>建屋の改修は地域市民の自主事業であり、改修資金の確保が課題</p> <p>(目的・必要性)</p> <p>古い日本家屋が持つ情緒性は、多世代交流拠点として再生、活用すれば大きな効果を生み出し、かつ、地域の歴史遺産、地域活性化の一助になる。</p>
(6)4の事業の目標 と成果の確認方法	<p>(目標)</p> <p>建屋の改修仕様の決定、設計。</p> <p>(成果の確認方法)</p> <p>改修費用の見積を確定できれば、次の資金確保というステップにのれる。</p>
(7)4の事業に 関する今後の方 向性・ビジョン	地元14地区の自治会長とNPOメンバーとでつくる「多世代交流拠点づくり委員会」で、母屋と離れ屋の「地域の縁側」としての使い方と改修の内容、仕様について決めていく。

